

# 上越南地区商工会景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）  
イ 対象企業 同地区内商工会員  
ウ 調査企業数 60 事業所（うち小規模事業者数 58 事業所）  
エ 回答企業数 60 事業所  
（回答率 100.0%）

### (2) 調査対象期間

令和4年 10月～令和4年 12月  
（調査時点：令和5年1月10日）

### (3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	17	28.3%	17	28.3%
2 製造業	10	16.7%	10	16.7%
3 卸売業	4	6.7%	4	6.7%
4 小売業	14	23.3%	14	23.3%
5 飲食・宿泊業	7	11.7%	7	11.7%
6 サービス業その他	8	13.3%	8	13.3%
合計	60	100.0%	60	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	58	2	0	60
構成比	96.7%	3.3%	0.0%	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

前回調査では改善基調にあったにも関わらず、今回の調査では前年同期比及び今後の見通しの指標において景況感は悪化となった。また、従前からの原油・原材料の高騰や、電力料金等の値上げ、円安による物価の上昇の影響のほか、コロナウイルス収束も見通しが立たない状況である。相次ぐ原材料価格の高騰に対し、製造業を中心に卸売業や飲食業も価格転嫁が思うように進まないこともあり、先行きの景況に対し懸念を示す回答も多く寄せられた。さらに、今後も企業収益や個人消費に影響を及ぼす新たな懸念材料から、景気の先行きに対する不透明感が増すとともに、景気回復は一進一退の状況が続くと予想される。

**【売上高】**

売上DI値については、前年同期比（R3. 10月～12月）で±0ポイントであり、前期比（R4. 7月～9月）では△3.3ポイントの減少となった。また、今後の見通し（R5. 1月～3月）においては△65.0ポイントと大幅に減少となった。特に、今後の見通しでは調査企業の6割超が減少と回答し、今後は悪化の傾向になるとの回答が多く見られた。

**前年同期比**

増加	不変	減少
16	18	26

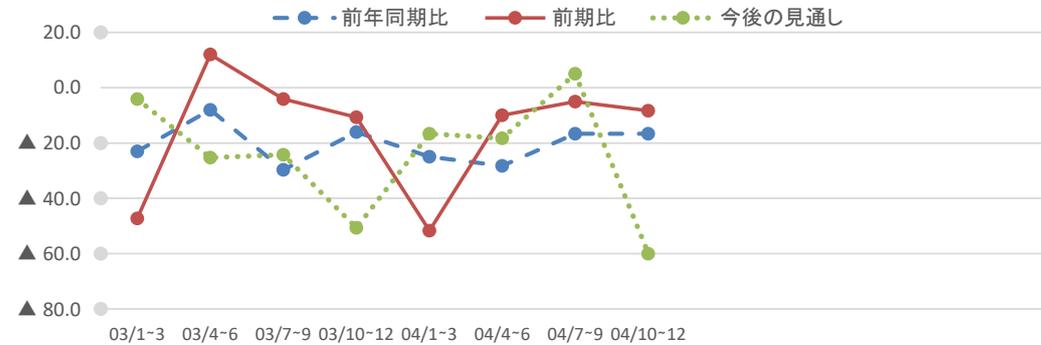
**前期比**

増加	不変	減少
19	17	24

**今後の見通し**

増加	不変	減少
1	22	37

**売上DIの推移**



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12					
前年同期比	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 29.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 28.3	▲ 16.7	▲ 16.7					
前期比	▲ 47.3	12.0	▲ 4.1	▲ 10.7	▲ 51.7	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 8.3					
今後の見通し	▲ 4.1	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 50.7	▲ 16.7	▲ 18.3	5.0	▲ 60.0					

**【採算】**

採算値については、前年同期比（R3. 10月～12月）で+8.3ポイント増加であり、前期比（R4. 7月～9月）では+15.0ポイントと共に増加となった。しかし、今後の見通し（R5. 1月～3月）では△45.0ポイントの減少となった。売上DI値と同じく全業種で、今後の見通しで悪化との回答が多く見られた。

**前年同期比**

好転	不変	悪化
10	31	19

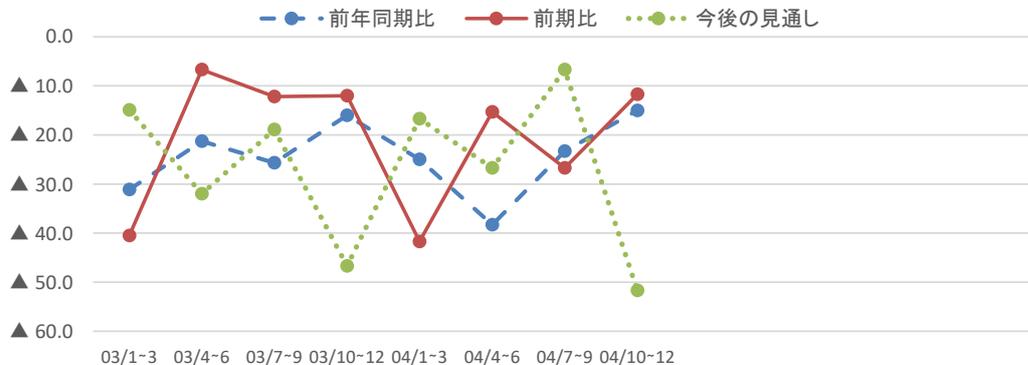
**前期比**

好転	不変	悪化
12	29	19

**今後の見通し**

好転	不変	悪化
0	29	31

**採算DIの推移**



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12					
前年同期比	▲ 31.1	▲ 21.3	▲ 25.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 38.3	▲ 23.3	▲ 15.0					
前期比	▲ 40.5	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 12.0	▲ 41.7	▲ 15.3	▲ 26.7	▲ 11.7					
今後の見通し	▲ 14.9	▲ 32.0	▲ 18.9	▲ 46.7	▲ 16.7	▲ 26.7	▲ 6.7	▲ 51.7					

### 【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R3. 10月～12月）で+3.3ポイントの増加であり、前期比（R4. 7月～9月）も+5.0ポイントの増加であった。しかし、今後の見通し（R5. 1月～3月）では△18.3ポイントと減少している。なお、今後も資源価格の高騰と円安による原材料価格の上昇で仕入単価の上昇が懸念される。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
51	9	0

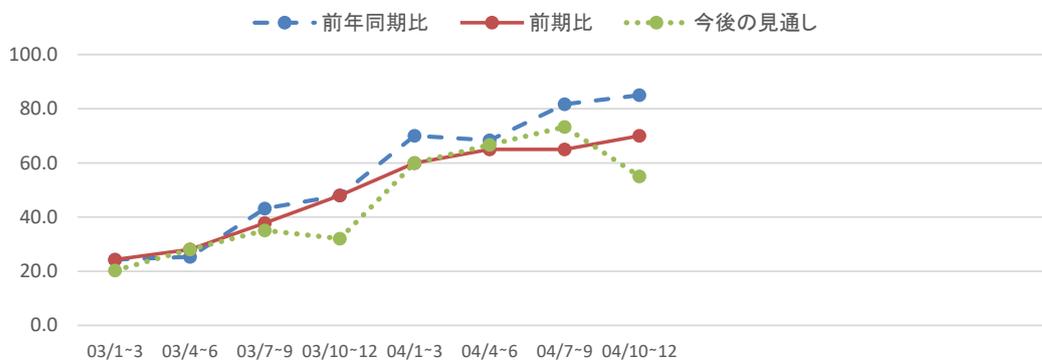
#### 前期比

上昇	不変	低下
42	18	0

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
34	25	1

### 仕入単価DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12				
前年同期比	24.3	25.3	43.2	48.0	70.0	68.3	81.7	85.0				
前期比	24.3	28.0	37.8	48.0	60.0	65.0	65.0	70.0				
今後の見通し	20.3	28.0	35.1	32.0	60.0	66.7	73.3	55.0				

### 【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R3. 10月～12月）で△1.6ポイント減少したが、前期比（R4. 7月～9月）は+1.6ポイントの増加となった。しかし、今後の見通し（R5. 1月～3月）では△21.7ポイントと大幅に減少を示している。なお、今回の調査期間で低下と回答した半数が小売業であった。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
16	35	9

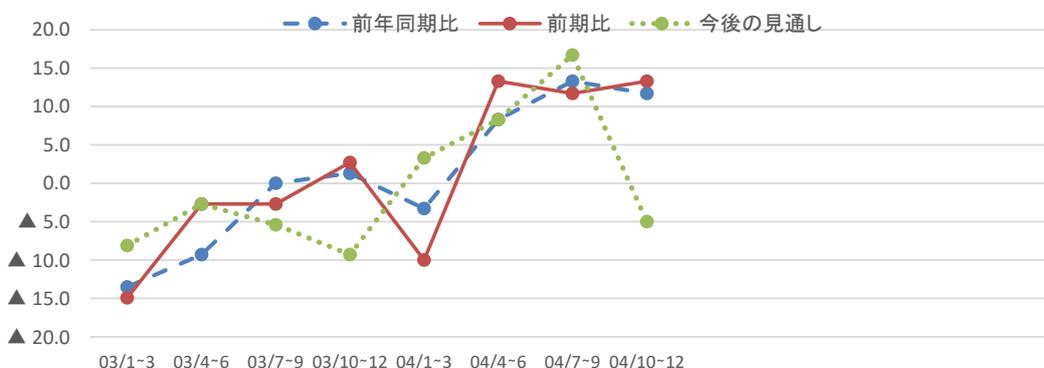
#### 前期比

上昇	不変	低下
15	38	7

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
9	39	12

### 販売（客）単価DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12				
前年同期比	▲ 13.5	▲ 9.3	0.0	1.3	▲ 3.3	8.3	13.3	11.7				
前期比	▲ 14.9	▲ 2.7	▲ 2.7	2.7	▲ 10.0	13.3	11.7	13.3				
今後の見通し	▲ 8.1	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 9.3	3.3	8.3	16.7	▲ 5.0				

### 【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R3. 10月～12月）で+6.7ポイント増加であり、前期比（R4. 7月～9月）でも+3.3ポイント増加となった。しかし、今後の見通し（R5. 1月～3月）においては△15.0ポイントの減少であった。また、今後の見通しでは全ての調査企業が不変もしくは悪化との回答であり、今後の資金繰りが厳しくなることは十分に考えられる。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
7	43	10

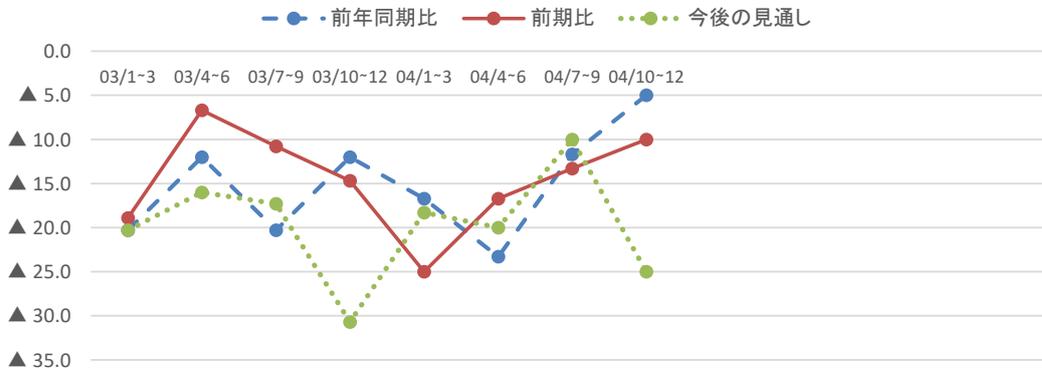
#### 前期比

好転	不変	悪化
5	44	11

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
0	45	15

### 資金繰りDIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12				
前年同期比	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 16.7	▲ 23.3	▲ 11.7	▲ 5.0				
前期比	▲ 18.9	▲ 6.7	▲ 10.8	▲ 14.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 10.0				
今後の見通し	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 17.3	▲ 30.7	▲ 18.3	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 25.0				

### 【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R3. 10月～12月）で△1.6ポイント減少したが、前期比（R4. 7月～9月）では±0.0ポイントとなった。さらに、今後の見通し（R5. 1月～3月）では△5.0ポイントの減少となった。また、今回調査で85%以上の事業所が不変と回答している。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
3	52	5

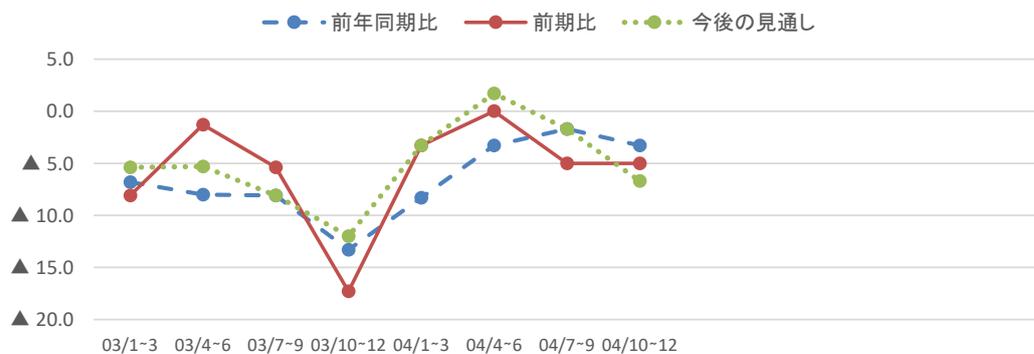
#### 前期比

増加	不変	減少
2	53	5

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
2	52	6

### 雇用動向DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12				
前年同期比	▲ 6.8	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 3.3				
前期比	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 17.3	▲ 3.3	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0				
今後の見通し	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 12.0	▲ 3.3	1.7	▲ 1.7	▲ 6.7				

**【景況判断】**

景況判断については、前年同期比（R3. 10月～12月）で+10.0ポイント増加したが、前期比（R4. 7月～9月）では△1.6ポイントの減少となった。さらに、今後の見通し（R5. 1月～3月）では△41.6ポイントと大幅に減少する結果となった。また、今後好転すると回答したのは僅か1事業所のみであった。

**前年同期比**

好転	不変	悪化
9	30	21

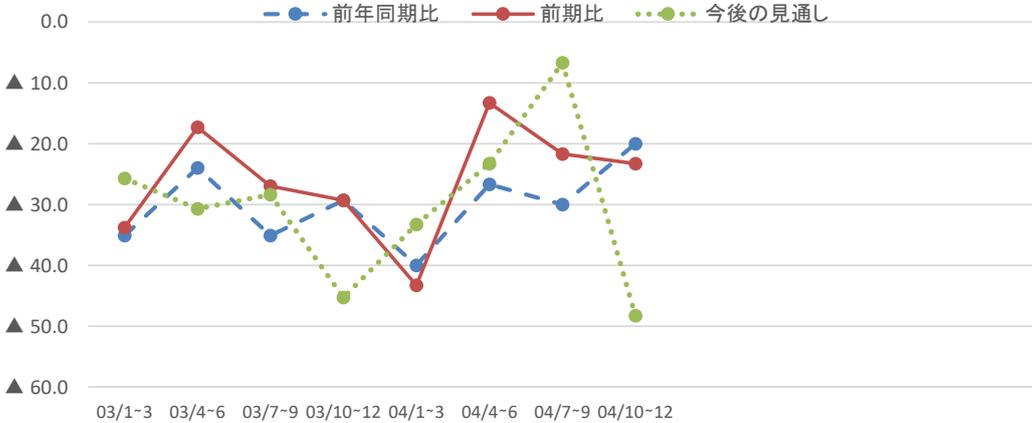
**前期比**

好転	不変	悪化
7	32	21

**今後の見通し**

好転	不変	悪化
1	29	30

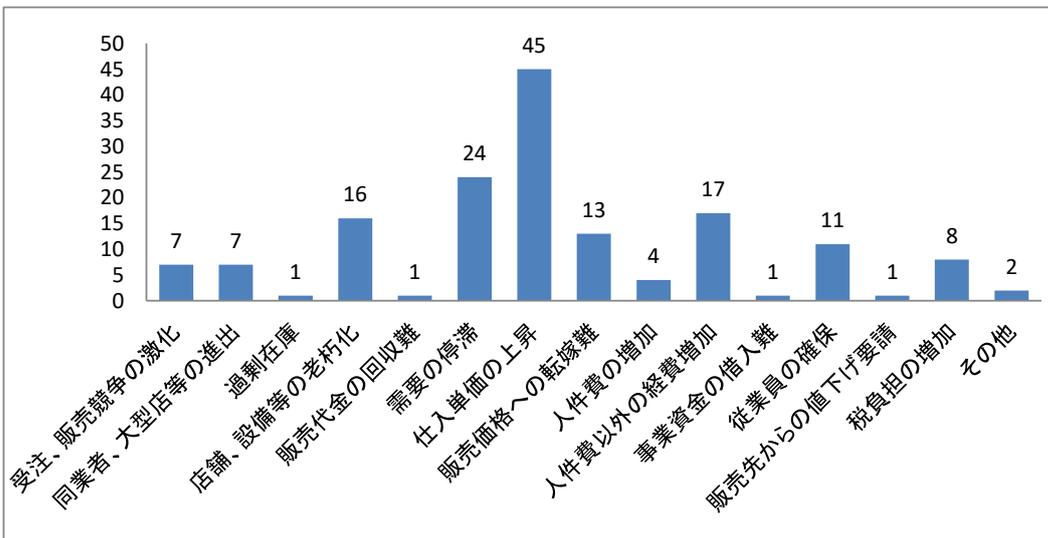
**景況判断DIの推移**



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12				
前年同期比	▲ 35.1	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 29.3	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 30.0	▲ 20.0				
前期比	▲ 33.8	▲ 17.3	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 43.3	▲ 13.3	▲ 21.7	▲ 23.3				
今後の見通し	▲ 25.7	▲ 30.7	▲ 28.4	▲ 45.3	▲ 33.3	▲ 23.3	▲ 6.7	▲ 48.3				

**【経営上の問題点】**

経営上の問題点について、今回の調査対象期間である10月～12月調査も前回調査と同じく「仕入単価の上昇」が最も多く、次いで「需要の停滞」「人件費以外の経費増加」が問題点として挙げられていた。特に「仕入単価の上昇」においては、全体の75%の事業所が回答している。さらに、製造業・卸売業・飲食業においては「販売価格への転嫁難」を問題点として挙げた事業所が目立った。また、現在の経営環境下において貴社が感じておられることとして、価格転嫁や販路開拓、既存顧客の減少などの意見が多く挙げられた。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 建設業

建設業においては、売上高が前期比より好転したと約3割の事業所が回答したが、今後の見通しでは不変もしくは悪化の回答のみであり、今後の経営状況は厳しいと見受けられる。経営上の問題点に関しては、前回調査と同じく材料価格等の高騰による「仕入単価の上昇」との回答が最も多く、次に「従業員の確保」となっている。建設業は慢性的な人手不足の状況であり、人材確保が大きな課題となっている。景況判断に関しては、来期の景況について今冬の少雪の影響から調査事業者の約65%が悪化するのではないかと不安視する回答が目立った。

#### (2) 製造業

製造業の売上については、調査した事業所の3割が前年同期比と前期比で悪化との回答であった。また、今後の見通しにおいては半数の事業所が悪化するとの回答であった。また、仕入単価については前年同期比で9割の事業所が上昇との回答であった。経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」を挙げる事業所が多く見られた。

#### (3) 卸・小売業

卸売業の売上においては半数の事業所が前年同期比から今後の見通しまで悪化との回答であった。また、小売業においては前年同期比・前期比で5割の事業所で売上が減少したとの回答であり、さらに、今後の見通しでは7割以上の事業所が悪化との回答となった。各地区で発行されているプレミアム付商品券も終了したことから、今後の売上増加は見込めないと不安を抱えている事業所も多いかと思われる。経営上の問題点としては卸売業・小売業ともに「仕入単価の上昇」「需要の停滞」を挙げてる事業所が多かった。さらに、卸売業においては「販売価格への転嫁難」、小売業においては「店舗、設備等の老朽化」を問題点としている事業所が目立った。

#### (4) サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

サービス業においては、売上及び採算性は大方の事業所が前年同期比から今後の見通しまで不変もしくは悪化との回答であった。飲食業については、材料費や光熱費の高騰が著しいうえに、販売価格への転嫁難もあり利益の確保が難しい状況である。今後の新年会や歓送迎会需要に期待したいが、コロナ禍収束の見通しが立たないと売上の増加は見込めない。また、飲食・宿泊業・サービス業で最も多い経営上の問題点に挙げられていたのは「仕入価格の上昇」であり、飲食業においては「販売価格の転嫁」との回答も多く見られた。

※ 今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

#### 【 建設業 】

- ・ 車輜や事務機器の入替が必要。

#### 【 製造業 】

- ・ 設備の老朽化による投資額の増(老朽化の重なり)、新規販売先の開拓難。
- ・ 価格転嫁。(2事業所)
- ・ コロナ前の状況には戻らないとは思いますが、どのような変わり方になるのか不安です。

#### 【 小売業 】

- ・ 社会不安(戦争・コロナ・貧困・少子高齢化・災害等)が続く中での消費マインドは浮揚すべく状況になく、冷え込む一方で、このトンネルは長期にわたると考えます。
- ・ 電子帳簿保存法により機器等を揃えなくてはならない。
- ・ 販路の開拓。(2事業所)
- ・ 人口が少なすぎる。

#### 【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】

- ・ コロナの影響で客足が遠のいている。インスタをはじめたのでドックランを宣伝したい。また、1500円くらいのランチセットを考えている。
- ・ 既存顧客の減少。